

知れば知るほど奥が深い

お米作りのきほんの **き**

～ レベルアップ編 収穫について ～



4～5月に田植えをした稲苗が、ついに収穫を迎えます！
 今から収穫の準備をする方、最後に手を抜いてはせっかく今まで順調にきた生育が水の泡になることがあります。
 今回は、品質や収量に有利になるような収穫の仕方、また収穫する時間帯などで燃料を多く使うのでエコな作業で費用コストの低減を図りましょう！！
 また、今年も『令和5年産 西予米No.1 コンテスト』を開催します！！
 詳細については、各農産センター・ホームページでお知らせします。
 生産者のみなさん、ぜひ参加してみてください。

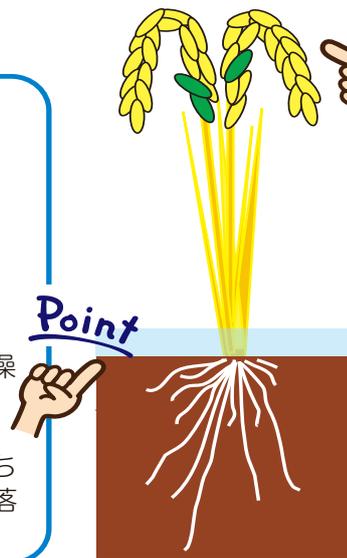
収穫のポイント

落水時期

は、
 収穫5～7日前
 それまでは湿潤気味にする

- ⚠️ 早く落水すると、
 枯れ熟れのような状態
- ・地温が上がりやすい
 - ・胴割れ粒や心白といった過乾燥のような状態になる

そのため、整粒が減り等級が落ち
 充実した米が少ないので食味も落ちます。



Check!

収穫の目安

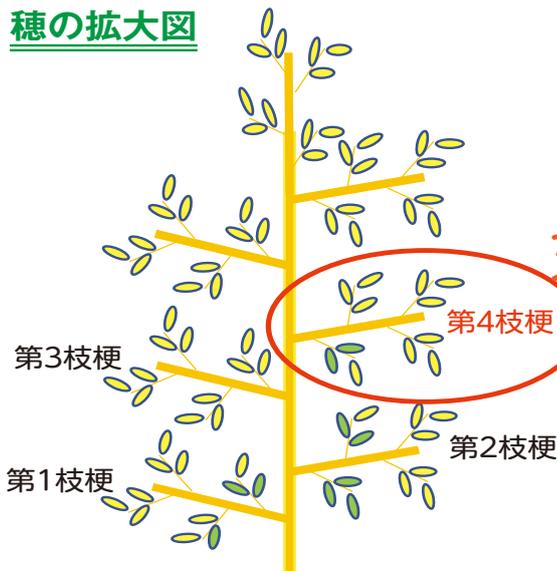
は、
 すべての籾の色が黄化する前に
 コンバインで収穫

品 種	出穂後日数	黄化
コシヒカリ	33～38日	75%
あきたこまち	33～38日	85%
ヒノヒカリ	40～46日	85%
にこまる	42～48日	85～90%

- ⚠️ 青米が多いと米の中にでんぷんが入りきらず、食味が落ちる恐れがあります。早刈りを避けて、圃場ごとに見分けて収穫することが大切!!

上の2つのポイントを押さえて収穫する方法もありますが他にも穂を確認してみる方法もあります。

穂の拡大図



第4枝梗 拡大図



下から大きな枝4本目の第4枝梗から
 1本目にある第1小枝梗の真ん中の籾が
 黄化していたら刈り取り

収穫のタイミング

朝露が乾く前に刈ると

- 収穫する時期は、寒暖差による朝露が発生します。
- ① 稲が重くなりコンバインが遅くなる
 - ② 籾がくっついて脱穀がうまくいかずロスが増える
 - ③ 乾燥に時間がかかり燃料を多く使う 等

収穫のタイミングを間違えると悪循環になる可能性があります。

収穫は、朝露が乾燥してからがベスト!!

